



サワフジ

～花言葉は「幸運が訪れる」～



梅雨があけ、町花木（サワフジ）が見ごろの季節になりました。町内でもいたるところで、サワフジが開花しています。花の見ごろは6月から8月ごろで、夕方から夜にかけて白色や淡いピンク色などの花が咲きます。そして、明け方には花が散るといった特徴があります。

サワフジは沖縄県内で広く呼ばれている名前「藤のように下向きに垂れ下がる花を咲かせる」ことが由来です。全国的には「さがりばな」と呼ばれていて、西原町内では鳩目銭（琉球王国時代に使われていた穴の開いているお金）をぶら下げているように見えることから、シンカキギ 銭掛け木と呼ぶ地域があります。また甘い匂いがすることから舞香花という呼び名もあります。

【おすすめスポット】

①国指定史跡「内間御殿」

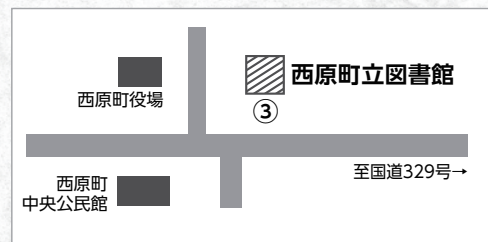
内間御殿の敷地正面に向かってすぐ左側にあるサワフジで、平成24年5月に西原町の天然記念物に指定しました。樹齢は400年以上とも言われています。また、内間御殿およびその周辺には、数多くのサワフジがあります。

②掛保久の親川

町内でも特に元気のあるサワフジで、3本の幹が並んでいます。毎年多くの花が垂れ下がるようすは、まさに圧巻です。親川は掛保久集落のほぼ中央に位置する掘り込みの井戸で、生活用水として利用されていました。

③西原町立図書館

図書館の正面入口付近に数多くのサワフジがあります。また、故平敷静男さん（嘉手苺出身）が平和への思いを込めて作詞した「サワフジの詩」の歌碑が建立されています。



①内間御殿



②親川



③図書館

円で囲んでいる木が「サワフジ」です

※サワフジを見に行く際は、近隣住民に迷惑がかからないよう、ご配慮ください。
※懐中電灯が必要です。